

(変更1回、最終) 契 約 変 更 の 内 容

契 約 変 更 年 月 日	令和 8 年 8 月 2 7 日
契 約 業 者 名	祥洋建設株式会社
契 約 業 者 の 住 所	島根県浜田市下府町 3 2 7 番地 4 1
工 事 の 名 称	浜田港福井地区仮係留施設浚渫工事
工 事 場 所	浜田港福井地区
工 事 種 別	港湾等しゅんせつ工事
工 事 概 要 (変 更 し た 内 容)	別紙工事数量総括表のとおり
工 期 (自)	令和 8 年 2 月 3 日
工 期 (至)	令和 8 年 8 月 3 1 日
変 更 前 の 契 約 金 額	1 5 7 , 3 0 0 , 0 0 0 円 (税 込 み)
変 更 金 額	2 8 , 8 2 0 , 0 0 0 円 (税 込 み)
変 更 後 の 契 約 金 額	1 8 6 , 1 2 0 , 0 0 0 円 (税 込 み)
変 更 理 由	別紙変更理由書のとおり

工 事 数 量 総 括 表

本工事数量総括表は、設計図書として入札・契約時の競争性・透明性を詳細に知らせるための資料であり、完成検査時の確認の対象数量ではない。

工事数量総括表

工 事 名 浜田港福井地区仮係留施設浚渫工事（変更1回）			事業区分		港湾整備	
			工事区分		泊地	
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要
仮係留施設						
浚渫工						
岩盤浚渫工						
砕岩		m3	2,987	1,811	△ 1,176	(内訳) 扱い土量（純土量＋余掘）
		m3	0	139	139	岩盤（硬質） 1,811m3（砕岩厚2mまで）
砕岩		m3				(内訳) 扱い土量（純土量＋余掘）
砕岩後浚渫		m3	2,344	1,516	△ 828	岩盤（硬質） 139m3（砕岩厚2mを超える）
グラブ浚渫船（岩盤用）拘束		式	1	1	1	
		m3	2,344	1,516	△ 828	
土砂投入工		m3	2,344	1,516	△ 828	
土砂投入工		m3	2,344	1,516	△ 828	
土運船運搬						
土砂投入						
共通仮設						
共通仮設費						
回航・えい航費						
回航	起重機船(非航旋回) 50t吊		原契約のとおり			
回航	グラブ浚渫船 岩盤用 鋼7.5m3	式	0	1	1	往復
回航	潜水土船 D270PS型	式	0	1	1	往復
運搬費						
仮設材等運搬	汚濁防止膜		原契約のとおり			
仮設材等運搬	汚濁防止枠用膜（処分）	式	0	1	1	
事業損失防止施設費						
水質汚濁防止枠	20m×20m カーテン丈長7m	式	1	1	△ 1	ウインチ有り
汚濁防止膜	垂下型H=7.0m以上 φ300連続フロート	式	1	1	△ 1	設置・管理・撤去 40m
汚濁防止枠用膜（処分費）		式	0	1	1	
安全費						
安全対策	安全監視船	式	1	1	△ 1	
潜水探査		m2	5,846	5,846	1	
水雷・傷害等保険料						
水雷保険		式	1	1	1	
傷害保険						
技術管理費			原契約のとおり			
技術管理	遠隔臨場費用	式	0	1	1	
技術管理	施工実態調査、諸経費動向調査	式	0	1	1	
現場環境改善費						
現場環境改善費	快適トイレ	式	0	1	1	
測量業務						
水路測量						
水路測量						
測量準備		式	1	1	1	
水深測量		式	1	1	1	23,406m2
関連調査	底質判別	地点	0	3	3	
成果		式	1	1	1	

変更理由書

1. 工 事 名 浜田港福井地区仮係留施設浚渫工事
2. 工 期 令和8年2月3日～令和8年8月31日
3. 請 負 金 額 (当初) 157,300,000円
4. 変 更 理 由

本工事は、浜田港福井地区仮係留施設の浚渫工及び土砂投入工を施工するものであるが、今般、以下の理由により設計図書を変更する必要があるが生じた。

- 1) 測量業務費：水路測量の変更・ICT活用費用の追加
海上保安部との協議に基づき、測量範囲の変更及び底質判別を追加する。また、特記仕様書8-21(1)の協議に基づきICT活用費用を計上する。
- 2) 共通仮設：汚濁防止柵の規格変更
グラブ浚渫船移動時に汚濁防止膜の巻上が必要なため、汚濁防止柵の規格を巻上ウィンチ有に変更する。
- 3) 浚渫工、共通仮設：グラブ浚渫船の規格変更、回航費追加
当初想定していたグラブ浚渫船が浜田港内に在港していないことを確認したため、グラブ浚渫船の規格を変更し回航費を追加する。
- 4) 共通仮設：潜水土船回航費の追加
潜水探査における潜水土船について、浜田港内に在港していないことを確認したため、回航費を計上する。
- 5) 共通仮設：潜水探査設標点数の変更
設計照査結果に基づき、潜水探査設標点数を変更する。
- 6) 浚渫工、土砂投入工、共通仮設：浚渫・土砂投入数量の変更
ICTによる事前の起工測量に伴う数量計算結果により、施工範囲及び施工数量の変更を行う。
- 7) 共通仮設（現場環境改善費、技術管理費）：快適トイレ、遠隔臨場に係る費用の計上
快適トイレの設置を確認したため、その費用を計上する。また、遠隔臨場を実施したことからその費用を計上する。
- 8) 共通仮設（運搬費、事業損失防止施設費）：汚濁防止柵用膜処分費の計上
汚濁防止柵用膜の処分が確認できたため、汚濁防止膜の処分にかかる費用を計上する。
- 9) 共通仮設（技術管理費）：諸経費動向調査・施工実態調査の追加
間接工事費等諸経費動向調査及び施工実態調査（詳細調査（浚渫工（ポンプ・グラブ））、モニタリング調査）の対象となったため、技術管理費を追加する。